

## 第40次宇都宮市住居表示等審議会（第2回）次第

日時 令和2年8月31日 午前10時

会場 宇都宮市役所14階 14B会議室

1 開 会

2 議事

- ・ 答申（案）について

3 その他

4 閉 会

## 第40次宇都宮市住居表示等審議会委員等名簿

	氏 名	役 職 等
<b>委 員（宇都宮市住居表示等審議会規則第2条）</b>		
会 長	篠 崎 茂 雄	栃木県立博物館 学芸部長補佐 兼 人文課長
副会長	豊 田 豊	日本郵便株式会社 宇都宮中央郵便局 第1集配営業部長
	安 野 光 宣	栃木県行政書士会 宇都宮支部長
委 員	杉 山 豊	宇都宮地方法務局 首席登記官
	仲 田 正 和	宇都宮中央警察署 生活安全課長
	池 田 貞 夫	宇都宮伝統文化連絡協議会 顧問
	柿 沼 賢	宇都宮商工会議所 監事
	木 村 由 美 子	宇都宮女性団体連絡協議会 副会長
	滝 田 政 男	公募委員
	外 鯨 泰 子	公募委員
	舘 野 常 利	富屋地区連合自治会長
<b>幹 事（宇都宮市住居表示等審議会規則第6条第1項）</b>		
幹 事	坂 本 智 美	富屋地区市民センター所長
<b>事 務 局</b>		
事務局	小 関 裕 之	市民まちづくり部長
	坂 本 忠 夫	市民まちづくり部次長
	會 澤 和 貴	市民まちづくり部副参事
	神 谷 良 範	市民まちづくり部副参事
	田 代 京 子	市民まちづくり部市民課長
	小 林 尚 志	市民まちづくり部市民課長補佐
	野 澤 智 子	市民まちづくり部市民課企画グループ係長
	清 水 是 博	市民まちづくり部市民課企画グループ総括
	田 崎 悟	市民まちづくり部市民課企画グループ主任主事

# (案)

宮住審第 号  
令和2年 月 日

宇都宮市長 佐藤 栄一 様

第40次宇都宮市住居表示等審議会  
会長 篠崎 茂雄

町の名称（読み方）変更の実施について（答申）

令和2年7月30日付け、宮市第1112号で諮問のありました「徳次郎町とくじらうまちの名称（読み方）を変更すること」について、慎重に審議を重ねてまいりました。  
その結果、当審議会は、別紙のとおり答申します。

徳次郎町とくじろうまちの名称の変更に関する答申

令和2年 月

第40次宇都宮市住居表示等審議会

## はじめに

諮問のあった徳次郎町<sup>とくじろうまち</sup>は、昭和29年の宇都宮市と河内郡富屋村の合併に伴い、町の表記を「徳次郎町」、ふりがなを「とくじろうまち」と定められたところであるが、65年以上の長い年月を経た現在において、地元である富屋地区においては、地名の起源は奈良時代に遡るといふ「とくじら」という名称に強い愛着を持ち、継承し続けている。

今年4月に同地区の総意として、徳次郎町<sup>とくじろうまち</sup>の読み方を「とくじらまち」へ変更することの要望書が市に提出され、本市初となる既存町名の読み方を変更することについて調査審議するため、当審議会が設置されたところである。

7月から2回にわたり、当審議会において徳次郎町<sup>とくじろうまち</sup>の名称の変更について、歴史や文化的背景、市民生活や関係行政機関等の様々な専門的な見地から真摯な審議を行ってきたところであり、その結果をここに答申する。

本答申が、富屋地区まちづくりの推進に寄与し、さらには宇都宮市の発展につながることを願っている。

令和 2年 月

第40次宇都宮市住居表示等審議会

会 長 篠 崎 茂 雄

## 1 徳次郎町の名称を変更することについて

「徳次郎町（とくじろうまち）」の名称について、「徳次郎町（とくじらまち）」へ変更することに異議はありません。

## 2 理由

- (1) 「とくじら」の名称の起源は奈良時代に遡るといわれ、歴史的・文化的な背景を有し、地元である富屋地区に留まらず、宇都宮市内外において広く定着し、愛着ある地名として継承されている。
  
- (2) 徳次郎町（とくじろうまち）の名称について、地域が古くから長く親しんできた「とくじらまち」へ変更することは、富屋地区全体の強い要望であるとともに、地域の子どもたちの郷土愛を育成し、富屋地区のまちづくり、さらには宇都宮市の発展につながるものである。

第40次宇都宮市住居表示等審議会委員

会 長	篠 崎 茂 雄
副会長	豊 田 豊
	安 野 光 宣
委 員	池 田 貞 夫
	柿 沼 賢
	木 村 由美子
	杉 山 豊
	滝 田 政 男
	舘 野 常 利
	外 鯨 泰 子
	仲 田 正 和

(副会長・委員 五十音順)